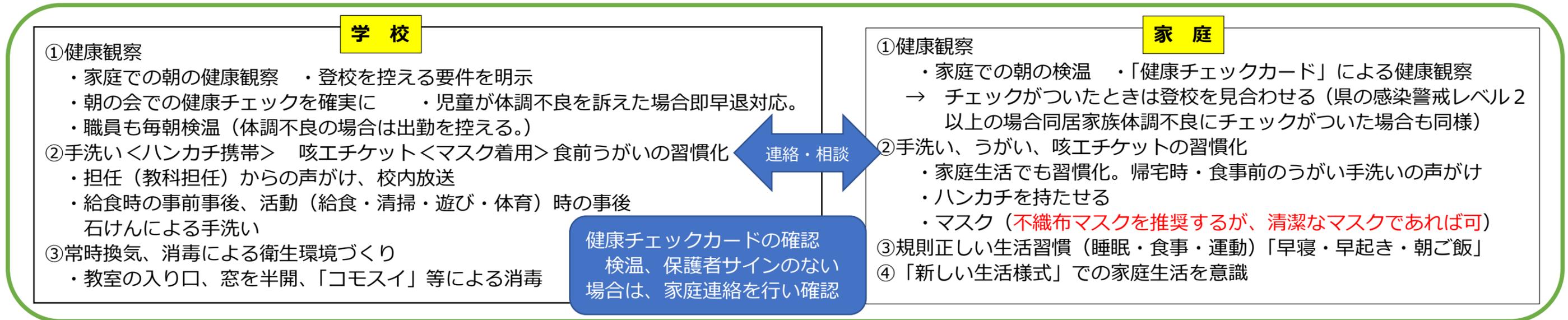


○「感染源・感染経路」を絶つ 学校と家庭が連携した環境づくり・習慣づくり+「新しい生活様式」への対応

感染経路・・・ウイルスは、目、鼻、口から体内へ 「飛沫感染」「エアロゾル感染」「接触感染」



○「集団感染」を防ぐ クラスタ発生リスクを下げる → 「ゼロ密」

- ①換気をする : 2方向の窓を同時に常時開けておく。30分に1回以上数分間の換気
- ②人の密度を下げる : 会場の広さを確保し、1～2m程度あけるなどして、密度を減らす
- ③近距離での会話など避ける : 咳エチケットのためマスクを常時着用 (マスクをしていても最低1mの距離をとる)

**「密閉」「密集」「密接」しない!**  
\*「ゼロ密」目指しましょう。  
屋外でも「密集」「密接」には要注意。

□「ゼロ密」学校の対応 第2保健室(小会議室)・・・発熱者・濃厚接触者に関わる早退等著しく疑いがある児童待機場所。接触者最小限に、付近立ち入り禁止。引き渡し場所は、廊下の出入り口

	登下校	そうじ トイレ	給食	図書館	全校行事 全校集会	児童会 クラブ	学年活動 交流活動	授業				他	
								体育	音楽	理科	家庭科		教室
県感染警戒レベル2以上	・身体接触をできるだけ避ける ・更衣の密をさけるため運動着登校可(レベル1でも継続)	・適度な間隔を促す(そうじ)	・ <b>黙食徹底</b> ・前向きで食べる。 ・運搬配膳時私語無 ・配膳台消毒 ・盛り換えしない。	・ <b>静かに短時間利用</b> ・ <b>座席は間隔をとる</b>	・極力実施しない。 ・オンライン会議や放送で代替	・距離をとる	・広い場所で、両手を広げ接触しない間隔 ・体制整備	・距離をとる。 ・身体接触を避ける ・屋外で可能なものは屋外で実施。	・間隔開ける。人の方を向いて歌わない。 ・リコーダー、鍵盤ハモは見合わせる。	・実験時は密集しないように配慮	・調理実習は延期。 (感染警戒レベル3まで可)	・座席前向き ・常時グループ活動はできるだけ避ける ・30人を超える学級は広い教室へ移動(R2年度から現在実施中) ・ <b>野外飲食も十分な感染対策を行う</b>	・行事の見直し・工夫 ・来校者はマスク着用・検温・健康チェックカード
換気	—		常時換気(エアコン使用時も)		※エアコン使用時		天井扇風機を稼働	空気清浄機稼働					
マスク			常時着用		※外遊び、体育では着用しないこともある		*夏季は熱中症対策優先(十分距離をとる)						
手洗い(石けん)	登校後	事後	事前	事前事後			事後						
臨時休業	・すぐメールでの家庭連絡		・職員による家庭訪問や通知プリントの配布		・ICT機器(一人一台端末Chromebook)の活用によるやりとり								

